

令和7年度版 理科の学習 4年生

		児童用	教師用
1	【大日本】 春の始まり 1 天気と気温 2 春 【東 書】 1 あたたかくなると 3 天気と気温		
2	【大日本】 3 電池のはたらき 【東 書】 4 電流のはたらき		
3	【大日本】 4 とじこめた空気や水 【東 書】 8 とじこめた空気と水		
4	【大日本】 5 雨水のゆくえ 【東 書】 5 雨水のゆくえと地面のようす 7 自然のなかの水のすがた		
5	【大日本】 夏 星の明るさや色 夏の終わり 【東 書】 暑くなると 夏の星		
6	【大日本】 6 月と星の位置の変化 秋 【東 書】 6 月や星の見え方 すずしくなると		
7	【大日本】 7 わたしたちの体と運動 【東 書】 2 動物のからだのつくりと運動		
8	【大日本】 8 ものの温度と体積 【東 書】 9 物の体積と温度		
9	【大日本】 冬の星 冬 【東 書】 冬の星 寒くなると		
10	【大日本】 9 もののあたたまり方 【東 書】 10 物のあたたまり方		
11	【大日本】 10 すがたを変える水 【東 書】 11 水のすがたと温度		

4 年	1 令7 理科	【大日本】春の始 ^{まり} 1 天気と気温 2 春 P4~5 P6~13 P14~23, P220~221 【東 書】1 あたたかくなると 3 天気と気温 P6~15, P188 P30~37	名 前	組 番	評 点	■知・技 思・判・表	
						／65	／35

《全問各5》
《35》

【1】 春の植物や動物について調べました。次の問いに答えましょう。

(1) 春によく見られる植物や動物を、下のア〜クから4つえらび、記号を書きましょう。

ア ツバメ 	イ ミンミンゼミ 	ウ カブトムシ 	エ ナナホシテントウ 
オ オオハナブタの花 	カ ヒマワリの花 	キ サクラの花 	ク ホウセンカの花 

(2) 春の植物や動物についてまとめました。() にあてはまる言葉を下の□ からえらび、記号を書きましょう。

春になって (①) になると、新しい (②) を出したり、葉を広げたりする植物がふえる。また、たまごをうんだり、活動が (③) なったりする動物がふえる。

ア さむく イ あたたかく ウ 芽^め エ 実 オ にぶく カ さかんに

【2】 ヘチマとツルレイシを育てます。次の問いに答えましょう。

《20》

(1) 右の図は、ヘチマとツルレイシのたねを^{かんさつ}観察してかいた絵です。ヘチマのたねはア、イのどちらか、記号を書きましょう。



(2) 観察カードに、植物の名前、観察した日時、場所、気温、天気、植物の絵をかきました。ほかに、植物のどのようなことを書くとよいか、3つ書きましょう。

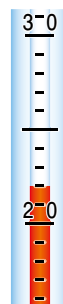
【3】 温度計の使い方について、次の問いに答えましょう。

《20》

(1) 気温のはかり方について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

- ① 温度計に日光が直せつ当たらないようにする。
- ② 地面から30cmくらいの高さではかる。
- ③ 風通しのよい場所ではかる。

(2) 右の図の温度計の目もりを読んで、温度を書きましょう。



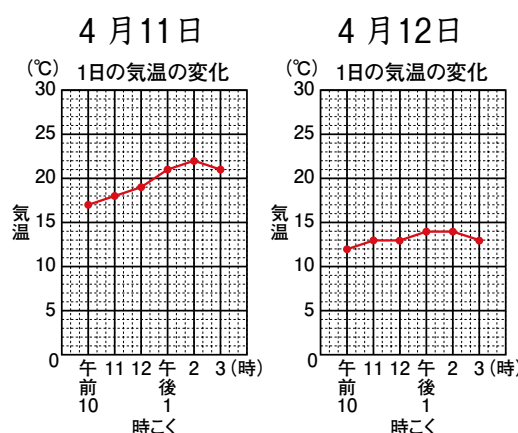
【4】 午前10時から午後3時までの^{へんか}気温の変化を、2日間調べてグラフにまとめました。2日のうち、1日は晴れ、1日はくもりでした。

《25》

(1) 「晴れ」と「くもり」のちがいは空全体の何の量で^{りょう}決まるか、書きましょう。

(2) 4月11日と12日の天気について、下の文の() にあてはまる言葉を書きましょう。

11日の天気は (①) で、12日の天気は (②) だと考えられます。
なぜなら、11日の方が12日よりも全体的に気温が (③) く、気温の (④) が大きいからです。



(1)	
(2)	① ② ③ ④

4 年	2 令7 理科	【大日本】 3 電池のはたらき P24～39, P223 【東 書】 4 電流のはたらき P38～49, P194	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点		
							/60	/40

《全問各5》

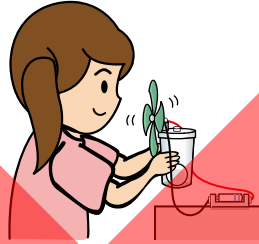
【1】 かん電池とモーターを使って、プロペラを回しました。

《25》

- (1) 電池や回路についてまとめた下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

かん電池の (①) 極と (②) 極に、モーターのどう線をつなぐと、回路に電気が流れる。この電気の流れを (③) という。(③)には向きがあり、かん電池の (①) 極からモーターを通して (②) 極へ流れる。

- (2) 右の図のように、プロペラの前に顔を出しましたが、モーターは回っているのに風が当たりませんでした。それはなぜか、「プロペラ」「向き」という言葉を使って書きましょう。



- (3) (2)のとき、どうすれば顔に風が当たるようになるか、「かん電池」という言葉を使って書きましょう。

(1)	①	
	②	
	③	
(2)		
(3)		

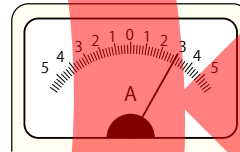
【2】 けん流計 (かんいけん流計) の使い方について、次の問いに答えましょう。

《25》

- (1) 使い方として、正しいものには○, 正しくないものには×をつけましょう。

- ① けん流計を回路のどちゅうに入れて、かん電池、モーター、けん流計を1つの輪のようにつなぐ。
② かん電池とけん流計だけをつないでもよい。
③ はじめは切りかえスイッチを「電磁石 (5 A)」がわに入れ、はりのふれが0.5より小さい目もりをさすときは、「まめ電球 (0.5 A)」がわに入れる。

- (2) けん流計のはりが右の図のようにふれました。スイッチが下の①や②のときの目もりを読みましょう。



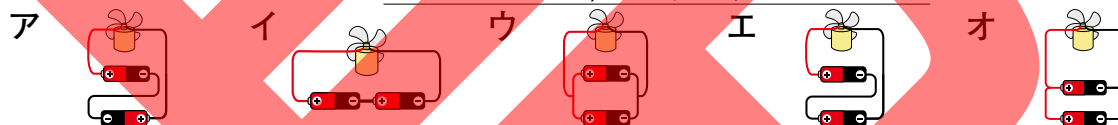
- ① スイッチが「電磁石 (5 A)」がわのとき。
② スイッチが「まめ電球 (0.5 A)」がわのとき。

(1)	①	
	②	
	③	
(2)	①	
	②	

【3】 はじめに、かん電池1つを使って、モーターを回しました。次に、かん電池を2つ、直列つなぎとへい列つなぎにしてモーターを回す実験をしました。また、けん流計で電流の大きさをはかりました。

《30》

- (1) 下の図のア～オのうち、直列つなぎの回路とへい列つなぎの回路を正しくつないでいるものをすべてえらび、記号を書きましょう。



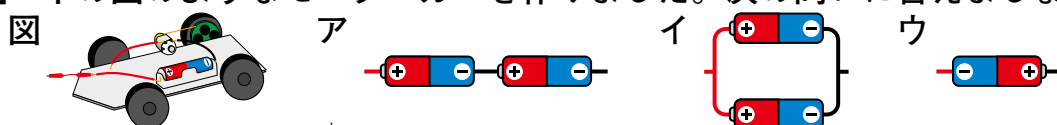
- (2) この実験からいえることについてまとめた下の表の () にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。(同じ記号を何回使ってもよい)

	モーターが回る速さ	モーターを流れる電流の大きさ
直列つなぎ	(①)	(②)
へい列つなぎ	(③)	(④)

ア かん電池1 この時より速い
ウ かん電池1 この時よりおそい
オ かん電池1 この時より小さい
イ かん電池1 この時と同じ
エ かん電池1 この時より大きい

(1)	直列	
	へい列	
(2)	①	②
	③	④

【4】 下の図のようなモーターカーを作りました。次の問いに答えましょう。



- (1) 車の進む向きを変えたいと思います。どのように直したらよいか、上のア～ウからえらび、記号を書きましょう。また、それをえらんだ理由を「電流」という言葉を使って書きましょう。
(2) 車をもっと速く進むようにしたいと思います。どのように直したらよいか、上のア～ウからえらび、記号を書きましょう。また、それをえらんだ理由を「電流」という言葉を使って書きましょう。

《20》

(1)	記号	
	理由	
(2)	記号	
	理由	

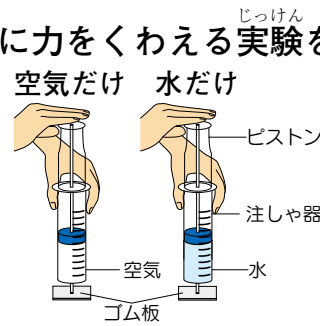
4 年	3 令7 理科	【大日本】 4 とじこめた空気や水 P40～51 【東 書】 8 とじこめた空気と水 P110～119	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点	／40	／60

《全問各5》

【1】 注し器とピストンを使って、とじこめた空気や水に力をくわえる実験をしました。

《40》

- (1) 実験のしかたについて、正しいものには○、
正しくないものには×をつけましょう。
- ① ピストンを両手で持って、強くおす。
- ② ピストンは真下に向かってまっすぐにおす。
- (2) 実験の結果をまとめました。下の文の () に
あてはまる言葉を書きましょう。



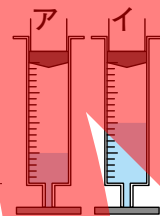
(1)	①	
	②	
(2)	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

とじこめた空気は、おしちぢめることが (①)。とじこめた空気をおすと、体積は (②) なる。ピストンの位置が下がるほど、手ごたえは (③) なる。おしてから手をはなすと、ピストンの位置は (④)。とじこめた水はおしちぢめることが (⑤)。水をとじこめて力をくわえても、水の (⑥) は変わらない。

【2】 下の図のように、注し器の中に空気と水をとじこめてピストンを強くおしました。

《20》

- (1) ピストンがより下まで下がるのは、右の図のア、イのうちどちらですか。記号を書きましょう。
- (2) (1)の結果になる理由を説明した下の文の () に
あてはまる言葉を書きましょう。



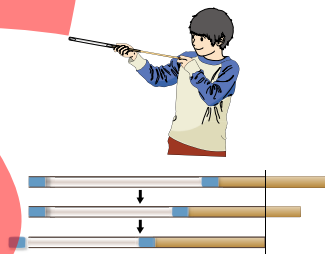
(1)		
	①	
(2)	②	
	③	

とじこめた (①) はおしちぢめることができるので、強くおすと元の体積より (②) なるが、とじこめた (③) はおしちぢめることができないので、強くおしても体積は元のままで変わらない。(①) の量が多い方が、より下までピストンが下がるから。

【3】 つつのりょうがわにせんをして、下の図のような空気でっぽうを作りました。かたほうのせんをぼうでおすと、反対がわのせんがとび出しました。このことを説明した下の文の () にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。

《20》

せんがとび出すのは、ぼうでおした時に、つつの中の空気がおしちぢめられて体積が (①) なり、(②) して体積が (③) なるからです。ゆっくりおすよりも速くおした方が、せんは (④) とび出します。なぜなら、速くおした方が体積がより (①) になって、(②) する力が大きくなるからです。



①	
②	
③	
④	

ア 小さく イ 大きく ウ そのままでいようと
エ 元にもどろうと オ いきおいよく カ ゆっくりと

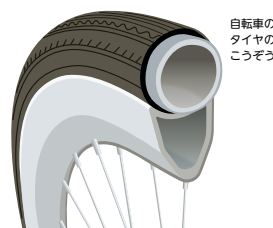
【4】 身の回りとじこめた空気や水がどのように役立っているか考えます。

《20》

- (1) 自転車や自動車のタイヤには、ゴムが使われています。その理由を説明した下の文の () にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。



タイヤのゴムの中には、(①) がとじこめてある。なので、地面のでこぼこにぶつかっても、タイヤの中の (①) が (②) ので、ショックをやわらげてくれる。

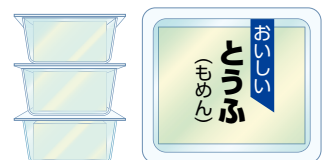


(1)	①	
	②	
(2)	①	
	②	

ア 空気 イ 水 ウ ふくらむ エ ちぢむ

- (2) どうふの入れものには、やわらかいどうふがくずれないようにするくふうがあります。それを説明した下の文の () にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。

どうふの入れものには、(①) が入っている。とじこめられた (①) は、(②) ので、入れものがへこんでどうふがくずれるのをふせぐことができる。



ア 空気 イ 水 ウ 力をくわえると体積が変わる エ 力をくわえても体積が変わらない

4 年	4 令7 理科	【大日本】 5 雨水のゆくえ P 72～93 【東 書】 5 雨水のゆくえと地面のようす P 50～61 7 自然のなかの水のすがた P 92～101	名	組	番	評 点		■知・技	思・判・表
			前						
								／70	／30

《全問各5》
《45》

【1】 雨水の流れと、水のしみこみ方について調べました。

- (1) 雨水の流れについてまとめました。下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

雨水は、(①) ところから (②) ところへ流れます。そして、
最も (②) ところにたまります。

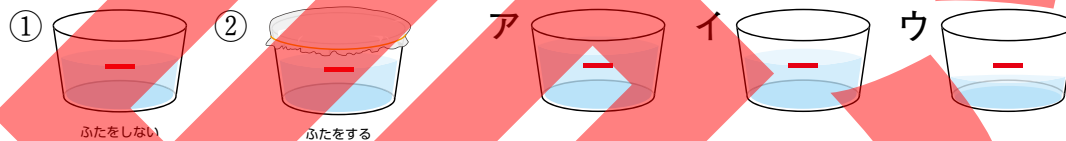
- (2) 校庭とすな場で、水のしみこみ方にちがいがあるのか調べました。下の図は、それぞれの土やすなを虫めがねで観察したものです。水のしみこみ方の実験の結果をまとめた下の表の () にあてはまる言葉を下の からえらんで、記号を書きましょう。

校庭	すな場		校庭の土	すな場
			つぶの大きさ (①)	(②)
			しみこむ速さ (③)	(④)
ア 小さい イ 大きい ウ おそい エ 速い				

- (3) 駅のホームや道路は、水平ではなく外側に向かって少しかたむけて作られていることがあります。その理由を、「雨水」という言葉を使って書きましょう。
- (4) 雨がやんだ後で運動場を見ると、水たまりができている場所とできていない場所がありました。水たまりができていた場所は、ほかの場所とくらべてどんな場所だと考えられますか。2つ書きましょう。

【2】 2つの水そうに同じ量の水を入れて、水面の位置にしるしをつけました。一方にラップをかぶせて日当たりのよい場所に置いておきました。

- (1) 2, 3日後にようすを見ると、①, ②それぞれの水の水面はどうなっているか、下の図のア～ウからそれぞれえらんで、記号を書きましょう。



- (2) このことを説明した下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

水は、空気中に出ていきます。このとき、水は目に (①) すがたに変わります。空気中の目に (①) すがたの水のことを、(②) といいます。このように、水が水面や地面から (②) にすがたを変えて空気中に出ていくことを、(③) といいます。

- (3) 右の図のように、水をまいた地面の上にプラスチックのカップをしばらく置きました。プラスチックのカップの内側のようすはどうなりますか。



【3】 氷水を入れたコップを部屋に置きました。しばらくすると、コップの外側に水てきがつきました。《15》

- (1) コップを置く場所を変えて実験をしました。①, ②のそれぞれの場所に置いたとき、水てきがつくなら○、つかないなら×を書きましょう。

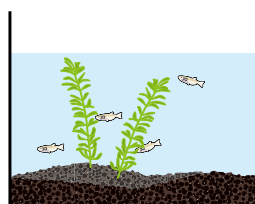
① 運動場 ② 階段

- (2) このように、空気中の目に見えないすがたの水が、冷たいものの表面で目に見えるすがたの水にもどることを何というか、書きましょう。

【4】 ふたのない水そうでメダカを育てていました。

- (1) 水そうのそうじや水かえをしないまま、何日かたちました。水そうの中の水の量は怎么样了、書きましょう。

- (2) (1)のように答えた理由を書きましょう。



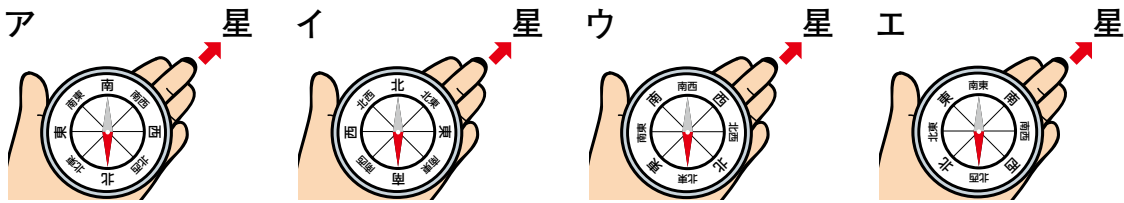
(1)	
(2)	

4 年	5 令7 理科	【大日本】夏 星の明るさや色 夏の終わり P 52～57 P 58～65 P 68～71, P 222 【東 書】暑くなると 夏の星 P 62～69 P 70～75, P 189	名	組 番		評 点	■知・技	思・判・表
			前					
							/ 35	/ 65

《全問各5》
《15》

【1】 見つけた星の方位を調べます。

- (1) 下の図のような、方位を調べる道具の名前を書きましょう。
(2) 下のア～エのうち、星の方位を正しく調べているものをえらび、記号を書きましょう。



- (3) (2)と答えた理由を書きましょう。

(1)	
(2)	
(3)	

【2】 夜空に見える星について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

《20》

- ① 明るさは、どの星でも同じだ。
② 色は、星によってちがう。
③ 1等星と2等星では、1等星の方が明るい。
④ 星は、東の空にしか見えない。

①		②	
③		④	

【3】 次の動物や植物の夏のようすは、春とくらべてどのように変わっていますか。

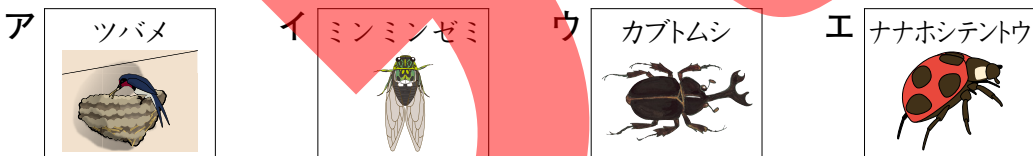
《40》

- (1) 下の表の絵を手がかりにして、()にあてはまる言葉を書きましょう。

	サクラ	ツルレイシ・ヘチマ	オオカマキリ	カエル
春	 花がさいている。	 芽が出て、少しづつ葉がふえてきた。	 オオカマキリの(③)がたまごからたくさん出てきた。	 うまれたばかりで、まだ(⑥)のじょうたいだった。
夏	 (①)がふえている。	 くきがのびていて、(②)がさいていた。	 体の色は(④)になり、体の大きさが(⑤)になっていた。	 足が生えて、体が大きくなっていた。水中からりくにあがっていた。

(1)	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
(2)		

- (2) 次の動物のうち、春には見られなかったが夏に見られるようになった動物はどれか。2つえらび、記号を書きましょう。



【4】 夏の動物や植物についてまとめました。

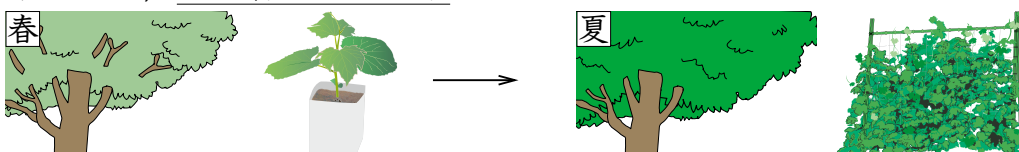
《25》

- (1) 下の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

夏になると、春とくらべて気温が(①)。動物は、活動が(②)なり、数が(③)。

ア 上がる イ 下がる ウ さかんに エ にぶく オ ふえる カ へる

- (2) 植物は、夏になると春とくらべてどのようになりますか。下の絵を手がかりにして、2つ書きましょう。



(1)	①	
	②	
	③	
(2)		

4 年	6 令7 理科	【大日本】 6 月と星の位置の変化 秋 P 94~109 P 128~133 【東 書】 6 月や星の見え方 すずしくなると P 78~91, P 189 P 102~109	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点		
							/45	/55

《全問各5》
《40》

【1】 時間がたつと月の位置がどのように変わるのか調べるために、月の観察をしました。

- (1) 観察カードには、どのようなことが分かるようにかくとよいですか。観察カードにかくとよいことを、下のア～カから3つえらび、記号を書きましょう。

ア 月の形 イ 天気 ウ 気温 エ 月の方角
オ 見つけた生き物 カ 観察した時こく

- (2) 右の①や②のような月を見つけました。
それぞれの月の名前を書きましょう。
(3) 観察から分かったことをまとめた下の文の
() にあてはまる方位を書きましょう。



月の位置は、時間がたつと、(①) から、(②) を通って、
(③) へと変わります。

(1)		
(2)	①	
	②	
(3)	①	
	②	
	③	

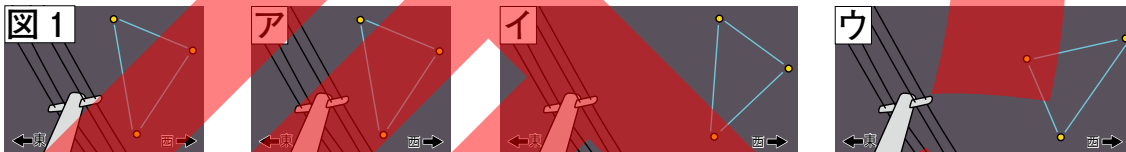
【2】 時間がたつと、星や星ざの見える位置やならび方が変わるのか調べるために、星の観察をしました。

- (1) 星ざ早見の使い方をまとめました。() にあてはまる言葉を、下のア～エからえらび、記号を書きましょう。

- ① 月日の目もりと時こくの目もりを観察する日に合わせる。
② 調べたい星が見える方位に向かって立ち、星ざ早見の調べる方位が
() にくるように持つ。

ア 上 イ 下 ウ 右 エ 左

- (2) 図1は午後7時に見た夏の大きな星ざです。2時間後にもう一度観察したときの星ざの位置やならび方は、どのように変わっていますか。下の図のア～ウのうちからえらび、記号を書きましょう。

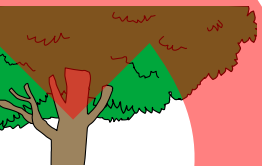
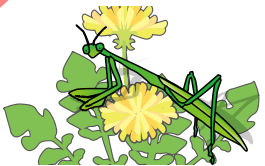
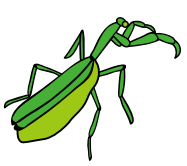


- (3) (2)になる理由を説明した下の文の() にあてはまる言葉を書きましょう。

星や星ざは、時間がたつと、(①) は変わりますが、(②) は変わらないからです。

(1)		
(2)		
(3)	①	
	②	

【3】 次の動物や植物の秋のようすは、夏とくらべてどのように変わっていますか。下の表の絵を手がかりにして、表の() にあてはまる言葉や文を書きましょう。

	サクラ	オオカマキリ	
夏	こい緑色の葉がふえている。 	緑色になり、体が大きくなっていた。 	①
秋	葉の色が(①), かれて葉が(②)。 	おながが(③) るので、もうすぐ (④) と思う。 	② ③ ④

【4】 秋の動物や植物についてまとめました。下の文の() にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。

秋になると、夏とくらべて気温が(①)。動物は、活動がにぶくなって、すがたや活動のようすを見られることが(②)。植物には、(③) ができて、その中に(④) ができる。

ア 下がる イ 上がる ウ へる エ ふえる
オ 実 カ 葉 キ くき ク たね

①	
②	
③	
④	

《20》

4 年	7 令7 理科	【大日本】 7 わたしたちの体と運動 P 110～127	名 前	組	番	評 点		■知・技	思・判・表
		【東 書】 2 動物のからだのつくりと運動 P 16～29						／30	／70

《全問各5》
《20》

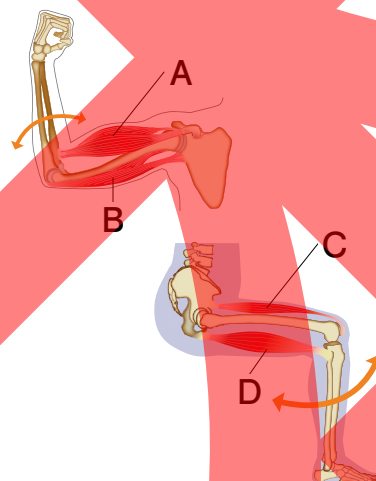
- [1] 自分のうでをさわって気づいたことをまとめました。() にあてはまる言葉を書きましょう。(同じ言葉を何回使ってもよい)

うでの中には、いつもかたい部分と、やわらかく、力を入れるとかたくなる部分がある。いつもかたい部分を (①) といい、やわらかい部分を (②) という。
うでの曲がる部分には、(③) のつなぎ目があり、その曲がる部分を (④) という。

①	
②	
③	
④	

- [2] 右の図のようにひじやひざの曲がり方についてまとめました。() にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。(同じ記号を何回使ってもよい)

- ・ひじをのばすとき、Aのきん肉は (①)。
- ・ひじをのばすとき、Bのきん肉は (②)。
- ・ひじを曲げるとき、Aのきん肉は (③)。
- ・ひじを曲げるとき、Bのきん肉は (④)。
- ・ひざをのばすとき、Cのきん肉は (⑤)。
- ・ひざを曲げるとき、Dのきん肉は (⑥)。

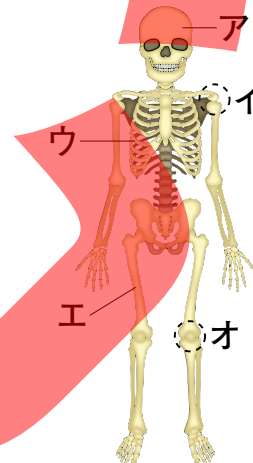


①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

ア ゆるむ イ ちぢむ

- [3] 右の図は、人の体のほねのようすです。次の問いに答えましょう。

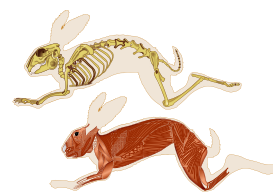
- (1) 関節を表しているのはどこか、図のア～オから2つえらび、記号を書きましょう。
- (2) 心ぞうやはいを守っているほねはどこか、図のア～オからえらび、記号を書きましょう。
- (3) ほねには、(2)のように、体の中のものを守るやくわりがあります。ほねには、他にどんなやくわりがあるか書きましょう。



(1)	
(2)	
(3)	

- [4] ウサギの体のつくりについて調べました。次の問いに答えましょう。

- (1) ウサギを観察するときの注意点について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。
 - ① よく調べるために体を力強くさわる。
 - ② ウサギをさわった後、かならず手をあらう。
- (2) 動物の体のつくりについてまとめました。次の文の () にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。



ウサギの体の中には、人と同じように (①) や (②) がある。また、人と同じように (③) があるため、体を曲げることができる。ウサギは、(④) の (①) が発達している。そのため、はねるように走ることができる。

(1)	①	
(1)	②	
(2)	①	
(2)	②	
(2)	③	
(2)	④	

ア 関節 イ きん肉 ウ ほね エ 前あし オ 後ろあし カ むね

4 年	8 令7 理科	【大日本】 8 ものの温度と体積 P134～151, P224 【東 書】 9 物の体積と温度 P120～133, P192	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点		
							/50	/50

《全問各5》
《25》

[1] 水、空気、金ぞくをあたためたとき、冷やしたときの体積の変化を下の表にまとめました。

- (1) 右の表の () にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。
(同じ記号を何回使ってもよい)

	あたためたとき	冷やしたとき
水	大きくなる	小さくなる
空気	(①)	(②)
金ぞく	(③)	(④)

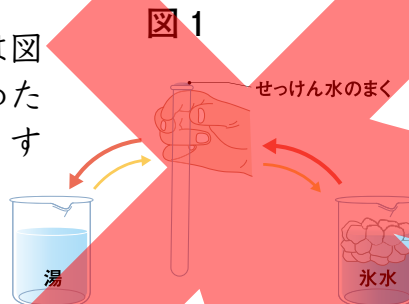
ア 大きくなる イ 変わらない ウ 小さくなる

- (2) 水、空気、金ぞくで体積の変わり方が大きいじゅんにならべて書きましょう。

(1)	①	②
■	③	④
(2)		
■		

[2] 口にせっけん水のまくをつけた試験管を、下の図1のように湯や氷水につけ、あたためたり冷やしたりしました。

- (1) はじめ、せっけん水のまくをつけた試験管は図2のようになりました。この試験管をあたためたときと冷やしたときのせっけん水のまくのようすをア、イからえらび、記号を書きましょう。



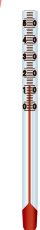
- (2) この結果からいえることは何か、「空気の体積は」に続けて書きましょう。
(3) (1)の実験からさらに試験管の向きや温度を変えて実験を行いました。次の①～③の実験の結果を、上のア、イからえらび、記号を書きましょう。
① 試験管を下向きにして手でにぎってあたためる。
② せっけん水のまくをつけた後、冷ぞうこに入れる。
③ 試験管を湯であたためてから、氷水で十分に冷やす。

(1)	あたためたとき	
■	冷やしたとき	
(2)	空気の体積は、	
(3)	①	
	②	
	③	

[3] 温度計について説明した次の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

《10》

温度計は、(①) によってえきの (②) が変わるせいしつを利用して、右のような温度計には中に赤いえきが入った管があります。えきだめが、あたためられたり冷やされたりすると、えきの (②) が変わります。すると、えきが管の中を上下し、温度をはかることができます。



①	
②	

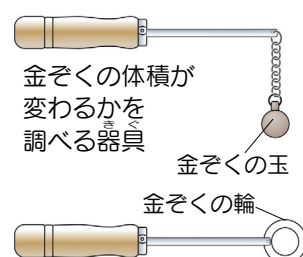
[4] 金ぞくの温度と体積の変わり方について、次の問いに答えましょう。

《35》

- (1) 実験用ガスこんろの使い方について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

- ① つまみを回して火がつかなかったらそのまま待つ。
② ガスこんろは平らで安定した場所に置く。
③ 記録しやすいようにノートを近くに置いておく。

- (2) 右の図のような道具を使い、金ぞくの玉を輪に通すと、玉はすれすれで輪を通りぬけました。その後、金ぞくの玉を熱して、通りぬけるかたしかめました。



- ① 金ぞくの玉を熱した後、玉は、輪を通りぬけますか。正しい方をえらんで、かい答らん○をつけましょう。

- ② ①の理由はなぜか。「体積」という言葉を使って、理由を書きましょう。

- (3) (2)の実験のあと、金ぞくの玉を水で冷やしました。金ぞくの玉は、輪を通りぬけますか、通りぬけませんか。正しい方をえらんで、かい答らん○をつけましょう。



- (4) 鉄道のレールや橋のつなぎ目は、右の絵のように、つなぎ目にすき間をあけています。その理由を書きましょう。

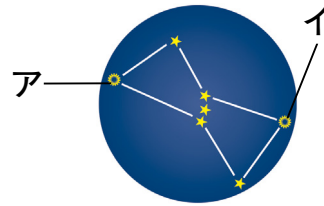
(1)	①	
■	②	
	③	
(2)	①	通りぬける・通りぬけない
	②	
(3)	通りぬける・通りぬけない	
(4)		

4 年	9 令7 理科	【大日本】 冬の星 P 152～155	冬 P 156～169, P 227	名 組 番	評 点		■知・技	思・判・表
		【東 書】 冬の星 P 148～151	寒くなると P 152～157, P 189					
							／75	／25

《全問各5》
《40》

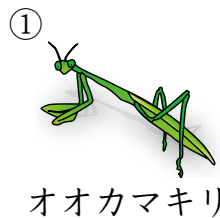
【1】 冬の星ざや星の動きについて、次の問いに答えましょう。

- (1) 右の星ざの名前を書きましょう。
- (2) 右のア、イの星の名前を書きましょう。
- (3) 冬の星ざや星の動きについて、正しいものは○、正しくないものには×をつけましょう。
- ① 冬でも、夏と同じ時こくであれば夏と同じ星ざが見える。
- ② 冬の星ざは、時間がたつと見える位置が変わる。
- ③ 冬の星ざは、時間がたつと星のならびが変わる。
- ④ 右の星ざを形づくる星は、全て赤い色である。
- ⑤ 右の星ざを形づくる星は、星によって明るさがちがう。

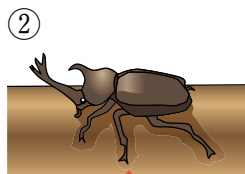


(1)	■	ざ
(2)	■	ア
		イ
	①	
	②	
(3)	■	③
	④	
	⑤	

【2】 次の動物や植物は、どのようなすがたで冬をこすでしょう。下の□か
らえらび、記号を書きましょう。



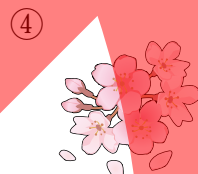
オオカマキリ



カブトムシ



ヒキガエル



サクラ

①	
②	
③	
④	

ア たまごのすがた イ よう虫のすがた ウ 成虫のすがた エ おたまじゃくしのすがた
オ カエルのすがた カ 葉がしげったすがた キ 花がさいたすがた ク えだと芽だけのすがた

【3】 1年の季節のうつり変わりについて調べました。次の問いに答えましょう。

- (1) 季節のうつり変わりについてまとめました。()にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。

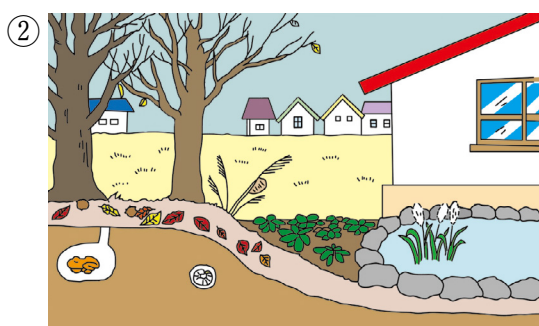
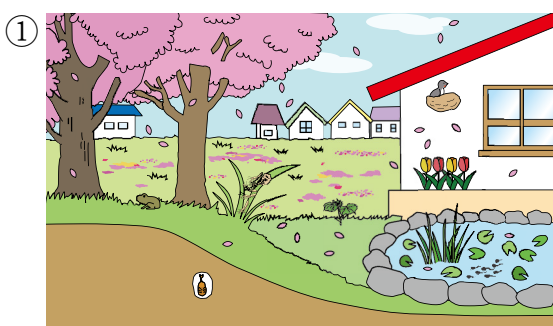
あたたかい季節になると、(①)は活動が活発になり、(②)はよく成長する。寒い季節になると、(①)は活動がにぶくなり、(②)のようすはほとんど変化しない。
生物のようすは、季節の変化によってちがいが (③)。

ア 植物 イ 動物 ウ ある エ ない

- (2) 下のツルレイシの図を、春から冬のじゅんになるように、ア～エをならべかえ、記号を書きましょう。



- (3) 次の①、②の絵は、春、夏、秋、冬のどの季節を表しているでしょう。また、そのように考えた理由を、生物のようすをもとに書きましょう。



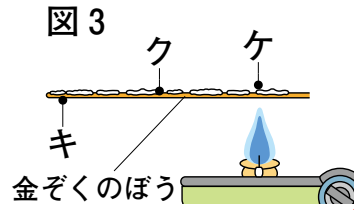
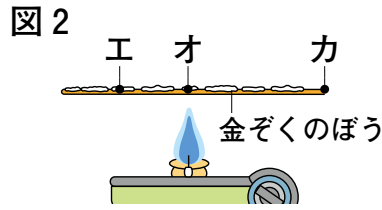
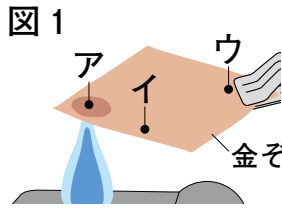
(1)	■	①	
		②	
		③	
(2)		→	→
		季節	
	①	理由	
(3)		季節	
	②	理由	

4 年	10 令7 理科	【大日本】 9 もののあたたまり方 P170～185, P220 【東 書】 10 物のあたたまり方 P134～147, P188	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点		
							/50	/50

《全問各5》
《25》

[1] 金ぞくのあたたまり方について、次の問いに答えましょう。

- (1) 金ぞくのぼうや板にろうをぬり、熱しました。下の図1～図4で3か所のろうが、とけるのが早い方からじゅんにそれぞれア～シの記号を書きましょう。



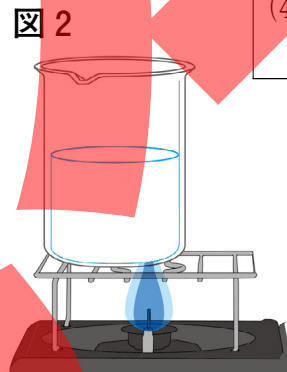
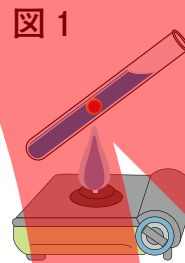
(1)	図1	→	→
	図2	→	→
	図3	→	→
	図4	→	→
(2)			

- (2) 金ぞくのあたたまり方について、() にあてはまる言葉を書きましょう。

金ぞくは、() ところからじゅんにあたたまっていく、やがて全体があたたまると。

[2] 水の入った試験管の中に示温インクを入れ、水のあたたまり方を調べました。次の問いに答えましょう。

- (1) 実験をするときに気をつけることについて、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。
- ① 水の動きが見にくくなってしまうので、ほごめがねはかけない方がよい。
- ② 実験に使った道具は、冷めるまでさわってはいけない。
- (2) 図1のように、ガスこんろで試験管の真ん中を熱しました。試験管の中の水は、上の方、下の方のどちらが早くあたまるか、かい答らんの正しい方に○をつけましょう。
- (3) 図2のように、ビーカーの中に水をいれ、熱しました。あためられた水はどのような動きになりますか。水の動きを表す矢印を図2のビーカーの中に書き入れなさい。
- (4) 水のあたたまり方をまとめました。() の中の正しい言葉をえらび、かい答らんに○をつけましょう。

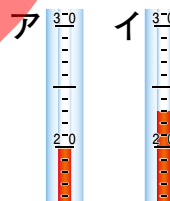
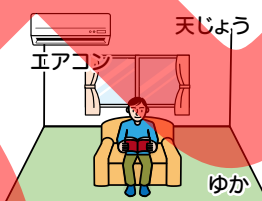


(1)	①	
	②	
(2)	上の方	下の方
(3)	図2の中に記入	
(4)	①	上・真ん中・下
	②	一部分・全体

あためられた水は、① (上・真ん中・下) の方へ動く。このようにして、水は② (一部分・全体) があたたまっていく。

[3] 部屋のエアコンでだんぼうをつけています。次の問いに答えましょう。

- (1) この部屋のゆかの近くと天井の近くで温度を計ると図1のア、イのようになりました。ア、イの温度は何度ですか。
- (2) 天井の近くの温度はア、イのどちらか、記号を書きましょう。
- (3) 空気のあたたまり方についてまとめました。次の文の() にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。



空気は、(①) と同じように、熱したところの空気が (②) 。かわりに上の冷たい空気が (③) 。このように空気が動くことによって全体があたまる。

ア 金ぞく イ 水 ウ 上に動く エ 下に動く

- (4) エアコンで部屋をあためるとき、部屋全体をより早くあためるには、ふき出し口を上と下、どちらに向けたらよいでしょうか。かい答らんの正しい方に○をつけましょう。
- (5) (4)のように考えた理由を書きましょう。

(1)	ア	℃
	イ	℃
(2)		
(3)	①	
	②	
	③	
(4)	上	下
(5)		

[4] 熱気球がうかぶ理由について、正しいものはどれか、下のア～ウからえらび、記号を書きましょう。《5》

- ア ガスバーナーのほのおがふき出す力で、気球をもちあげているから。
- イ 気球の中で、空気が水じょう気(水蒸気)に変わるから。
- ウ 気球の中の空気が、ガスバーナーであためられ、上に上がろうとするから。

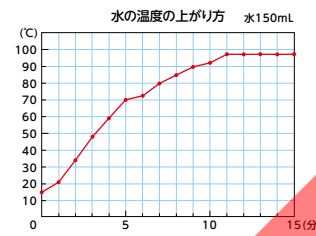
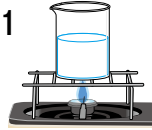
4 年	11 令7 理科	【大日本】10 すがたを変える水 P186～205 【東 書】11 水のすがたと温度 P158～173	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点		
							/50	/50

《全問各5》
《35》

[1] 図1のように、水を熱して温度の変化を調べました。
次の問いに答えましょう。

- 図1のビーカーの中に、熱い湯がふき出すのをふせぐ
ためにあるものを入れます。それは何か、書きましょう。
- このときの温度の変化を右のようにグラフにしま
した。この実験からいえることをまとめた次の①～
③の文で、正しいものには○、正しくないものには
×をつけましょう。
- 熱し始めて3分後には、60℃をこえた。
- 水を熱し始めて11分後には、水がふっとうし始めた。
- 実験が終わった後、水の量がへっていた。
- 水を熱し続けたときの温度の変わり方についてまとめました。()に
あてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

図1



(1)	■	
(2)	■	
(3)	■	
(1)	○	
(2)	○	
(3)	○	

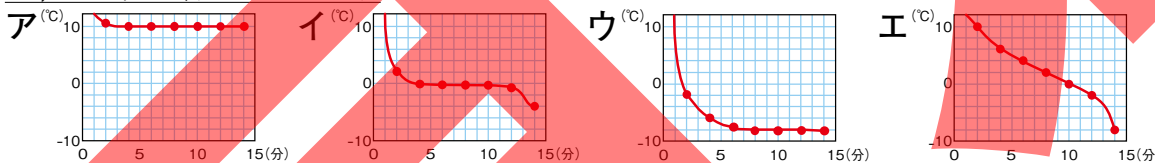
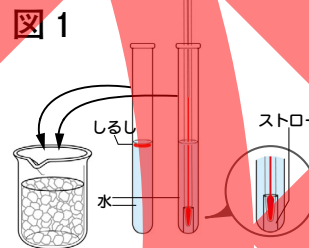
水は、熱し続けると (①) 近くまで温度が上がる。このとき中からさかんにあわが出てくる。
このことを (②) という。水が (②) している間、水の温度は (③) 。

ア 100℃ イ 80℃ ウ じょう発 エ ふっとう オ 変わる カ 変わらない

[2] 図1のように試験管に水を入れ、冷やし続けました。次の問いに答えましょう。

- 温度計の先にストローをつけました。その理由を
書きましょう。
- さらに温度を下げるには、ビーカーの中に何を入
れるとよいか、書きましょう。
- 水の温度を2分ごとに調べ、グラフに表しました。
このグラフとして正しいものを次のア～エからえら
び、記号を書きましょう。
- 水を冷やし続けたときの温度の変わり方についてまとめました。()
にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

図1



(1)	■	
(2)	■	
(3)	■	
(4)	■	
(1)	○	
(2)	○	
(3)	○	

水は冷やし続けると温度が下がり、(①) °Cになるとこおり始める。水がこおり
始めてから、全部の水が氷になるまで、温度は (①) °Cのまま変わらない。全部の水
が氷になった後は、温度が (②) 。水が氷になると、体積が (③) なる。

ア 0 イ 10 ウ 上がる エ 下がる オ 大きく カ 小さく

[3] 図1, 図2のように、水を熱したときに出てくるあわについて調べました。

- 最初に図1のように、水を熱すると、あな
から湯気が出ました。そこであなにガラスば
うを近づけ、湯気を集めると、水が付きまし
た。湯気の正体は何だといえるかを、「湯気
は」という書き出しに続けて書きましょう。
- 次に、ビーカーのそこから出るあわを図2
のようなそうちを使って集めました。ふっ
とうしているときは、ふくろがふくらみました。
この後、熱するのをやめると、ふくろはどうか、書きましょう。
- (2)のとき、ふくろの中にある変化が見られました。どのような変化が見られたか、書きましょう。

図1



図2



	湯気は
(1)	
(2)	
(3)	

《20》

[4] 下の図のように水のすがたの変わり方についてまとめました。次の問いに
答えましょう。



- 氷, 水, 水じょう気のようなすがたを、何というか。それぞれ書きましょう。
- 氷, 水, 水じょう気のうち、目に見えないものはどれか、書きましょう。

(1)	氷	
■	水	
	水じょう気	
(2)		
■		

4 年	1 令7 理科	【大日本】春の始 1 天気と気温 2 春 P4~5 P6~13 P14~23, P220~221 【東 書】1 あたたかくなると 3 天気と気温 P 6~15, P188 P30~37	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点	／65	／35

《全問各5》

【1】春の植物や動物について調べました。次の問いに答えましょう。

(知識・技能)《35》

(1) 春によく見られる植物や動物を、下のア〜クから4つえらび、記号を書きましょう。

ア ツバメ 	イ ミンミンゼミ 	ウ カブトムシ 	エ ナナホシテントウ 
オ オオイヌフグリの花 	カ ヒマワリの花 	キ サクラの花 	ク ホウセンカの花 

(1)	■	ア
		エ
		オ
		キ
(2)	■	① イ
		② ウ
		③ カ

(順不同)

(2) 春の植物や動物についてまとめました。() にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。

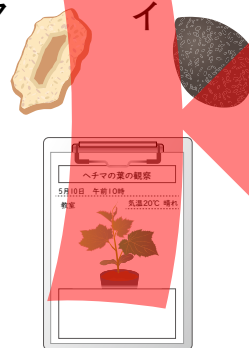
春になって (①) になると、新しい (②) を出したり、葉を広げたりする植物がふえる。また、たまごをうんだり、活動が (③) なったりする動物がふえる。

ア さむく イ あたたかく ウ 芽 エ 実 オ にぶく カ さかんに

【2】ヘチマとツルレイシを育てます。次の問いに答えましょう。

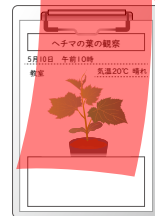
((1)知識・技能 (2)思考・判断・表現)《20》

(1) 右の図は、ヘチマとツルレイシのたねを観察してかいた絵です。ヘチマのたねはア、イのどちらか、記号を書きましょう。



(1)	■	イ
(2)	■	・くきの長さ(高さ) ・葉の数 ・葉の色 ・手ざわり などから3つ (教師判断)

(2) 観察カードに、植物の名前、観察した日時、場所、気温、天気、植物の絵をかきました。ほかに、植物のどのようなことを書くとよいか、3つ書きましょう。

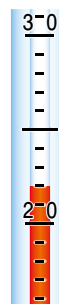


【3】温度計の使い方について、次の問いに答えましょう。

(知識・技能)《20》

(1) 気温のはかり方について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

- ① 温度計に日光が直せつ当たらないようにする。
- ② 地面から30cmくらいの高さではかる。
- ③ 風通しのよい場所ではかる。



(1)	■	① ○
		② ×
		③ ○
(2)	■	22 °C

(2) 右の図の温度計の目もりを読んで、温度を書きましょう。

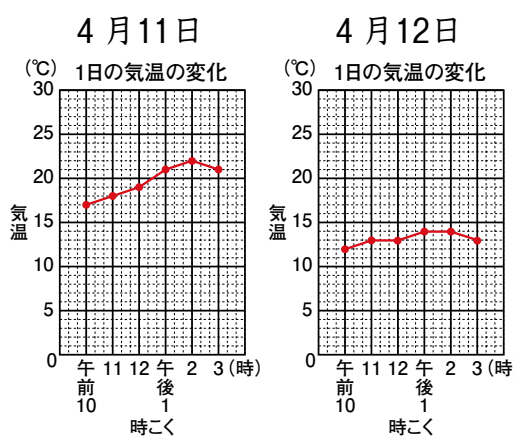
【4】午前10時から午後3時までの気温の変化を、2日間調べてグラフにまとめました。2日のうち、1日は晴れ、1日はくもりでした。

((1)知識・技能(2)思考・判断・表現)《25》

(1) 「晴れ」と「くもり」のちがいは空全体の何の量で決まるか、書きましょう。

(2) 4月11日と12日の天気について、下の文の() にあてはまる言葉を書きましょう。

11日の天気は (①) で、12日の天気は (②) だと考えられます。
なぜなら、11日の方が12日よりも全体的に気温が (③) く、気温の (④) が大きいからです。



(1)	■	雲
(2)	■	① 晴れ
		② くもり
		③ 高
		④ 変化(変わり方)

4 年	2 令7 理科	【大日本】 3 電池のはたらき P24～39, P223 【東 書】 4 電流のはたらき P38～49, P194	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点		
							／60	／40

《全問各5》

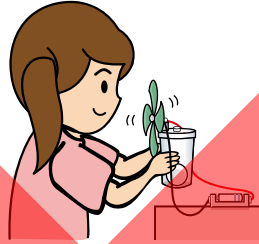
[1] かん電池とモーターを使って、プロペラを回しました。

((1)知識・技能 (2)(3)思考・判断・表現)《25》

- (1) 電池や回路についてまとめた下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

かん電池の (①) 極と (②) 極に、モーターのどう線をつなぐと、回路に電気が流れる。この電気の流れを (③) という。(③)には向きがあり、かん電池の (①) 極からモーターを通して (②) 極へ流れる。

- (2) 右の図のように、プロペラの前に顔を出しましたが、モーターは回っているのに風が当たりませんでした。それはなぜか、「プロペラ」「向き」という言葉を使って書きましょう。



- (3) (2)のとき、どうすれば顔に風が当たるようになるか、「かん電池」という言葉を使って書きましょう。

(1)	①	+	(プラス)
	②	-	(マイナス)
	③		電流
(2)			プロペラが反対向きに回っているから。 (教師判断)
(3)			かん電池の向きを反対にする。(教師判断)

[2] けん流計 (かんいけん流計) の使い方について、次の問いに答えましょう。

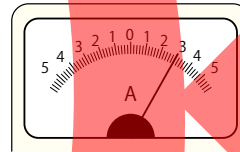
(知識・技能)《25》

- (1) 使い方として、正しいものには○, 正しくないものには×をつけましょう。

- ① けん流計を回路のどちゅうに入れて、かん電池、モーター、けん流計を1つの輪のようにつなぐ。
② かん電池とけん流計だけをつないでもよい。
③ はじめは切りかえスイッチを「電磁石 (5 A)」がわに入れ、はりのふれが0.5より小さい目もりをさすときは、「まめ電球 (0.5 A)」がわに入れる。

- (2) けん流計のはりが右の図のようにふれました。スイッチが下の①や②のときの目もりを読みましょう。

- ① スイッチが「電磁石 (5 A)」がわのとき。
② スイッチが「まめ電球 (0.5 A)」がわのとき。

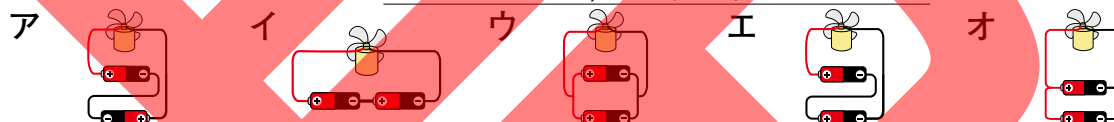


(1)	①	○
	②	×
	③	○
(2)	①	3 (3.0)
	②	0.3

[3] はじめに、かん電池1つを使って、モーターを回しました。次に、かん電池を2つ、直列つなぎとへい列つなぎにしてモーターを回す実験をしました。また、けん流計で電流の大きさをはかりました。

((1)思考・判断・表現 (2)知識・技能)《30》

- (1) 下の図のア～オのうち、直列つなぎの回路とへい列つなぎの回路を正しくつないでいるものをすべてえらび、記号を書きましょう。



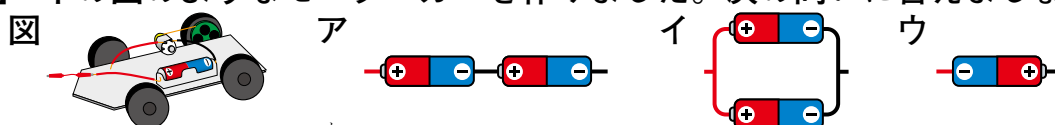
- (2) この実験からいえることについてまとめた下の表の () にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。(同じ記号を何回使ってもよい)

	モーターが回る速さ	モーターを流れる電流の大きさ
直列つなぎ	(①)	(②)
へい列つなぎ	(③)	(④)

ア かん電池1 この時より速い
ウ かん電池1 この時よりおそい
オ かん電池1 この時より小さい
イ かん電池1 この時と同じ
エ かん電池1 この時より大きい

(思考・判断・表現)《20》

[4] 下の図のようなモーターカーを作りました。次の問いに答えましょう。



- (1) 車の進む向きを変えたいと思います。どのように直したらよいか、上のア～ウからえらび、記号を書きましょう。また、それをえらんだ理由を「電流」という言葉を使って書きましょう。

- (2) 車をもっと速く進むようにしたいと思います。どのように直したらよいか、上のア～ウからえらび、記号を書きましょう。また、それをえらんだ理由を「電流」という言葉を使って書きましょう。

(1)	記号	ウ
	理由	(かん電池の向きを変えると) 電流の向きが変わるから。 (教師判断)
(2)	記号	ア
	理由	(かん電池を直列にふやすと) 流れる電流が大きくなるから。 (教師判断)

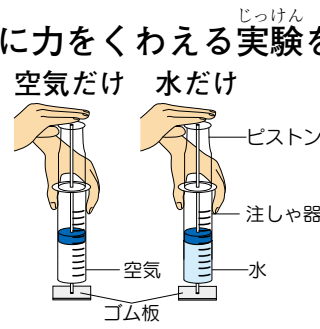
4 年	3 令7 理科	【大日本】 4 とじこめた空気や水 P40～51 【東 書】 8 とじこめた空気と水 P110～119	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点	／40	／60

《全問各5》

【1】 注し器とピストンを使って、とじこめた空気や水に力をくわえる実験をしました。

(知識・技能)《40》

- (1) 実験のしかたについて、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。
- ① ピストンを両手で持って、強くおす。
- ② ピストンは真下に向かってまっすぐにおす。
- (2) 実験の結果をまとめました。下の文の()にあてはまる言葉を書きましょう。



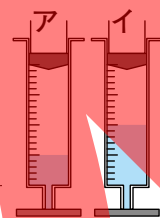
(1)	①	×
	②	○
(2)	①	できる
	②	小さく
	③	大きく
	④	元にもどる(上がる)
	⑤	できない
	⑥	体積

とじこめた空気は、おしちぢめることが(①)。とじこめた空気をおすと、体積は(②)なる。ピストンの位置が下がるほど、手ごたえは(③)なる。おしてから手をはなすと、ピストンの位置は(④)。とじこめた水はおしちぢめることが(⑤)。水をとじこめて力をくわえても、水の(⑥)は変わらない。

【2】 下の図のように、注し器の中に空気と水をとじこめてピストンを強くおしました。

(思考・判断・表現)《20》

- (1) ピストンがより下まで下がるのは、右の図のア、イのうちどちらですか。記号を書きましょう。
- (2) (1)の結果になる理由を説明した下の文の()にあてはまる言葉を書きましょう。



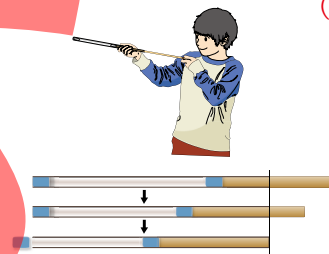
(1)		ア
(2)	①	空気
	②	小さく
	③	水

とじこめた(①)はおしちぢめることができるので、強くおすと元の体積より(②)なるが、とじこめた(③)はおしちぢめることができないので、強くおしても体積は元のままで変わらない。(①)の量が多い方が、より下までピストンが下がるから。

【3】 つつのりょうがわにせんをして、下の図のような空気でっぽうを作りました。かたほうのせんをぼうでおすと、反対がわのせんがとび出しました。このことを説明した下の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

(思考・判断・表現)《20》

せんがとび出すのは、ぼうでおした時に、つつの中の空気がおしちぢめられて体積が(①)なり、(②)して体積が(③)なるからです。ゆっくりおすよりも速くおした方が、せんは(④)とび出します。なぜなら、速くおした方が体積がより(①)になって、(②)する力が大きくなるからです。



①	ア
②	エ
③	イ
④	オ

ア 小さく イ 大きく ウ そのままでいようと
エ 元にもどろうと オ いきおいよく カ ゆっくりと

【4】 身の回りとじこめた空気や水がどのように役立っているか考えます。

(思考・判断・表現)《20》

- (1) 自転車や自動車のタイヤには、ゴムが使われています。その理由を説明した下の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。



タイヤのゴムの中には、(①)がとじこめてある。なので、地面のでこぼかにぶつかっても、タイヤの中の(①)が(②)ので、ショックをやわらげてくれる。

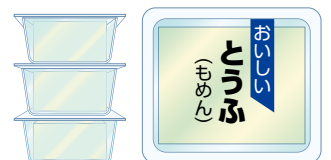


(1)	①	ア
	②	エ
(2)	①	イ
	②	エ

ア 空気 イ 水 ウ ふくらむ エ ちぢむ

- (2) どうふの入れものには、やわらかいどうふがくずれないようにするくふうがあります。それを説明した下の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

どうふの入れものには、(①)が入っている。とじこめられた(①)は、(②)ので、入れものがへこんでどうふがくずれるのをふせぐことができる。



ア 空気 イ 水 ウ 力をくわえると体積が変わる エ 力をくわえても体積が変わらない

4 年	4 令7 理科	【大日本】 5 雨水のゆくえ P 72～93 【東 書】 5 雨水のゆくえと地面のようす P 50～61 7 自然のなかの水のすがた P 92～101	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点	/70	/30

《全問各5》

【1】 雨水の流れと、水のしみこみ方について調べました。

((1)(2)知識・技能 (3)(4)思考・判断・表現)《45》

- (1) 雨水の流れについてまとめました。下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

雨水は、(①) ところから (②) ところへ流れます。そして、
最も (②) ところにたまります。

- (2) 校庭とすな場で、水のしみこみ方にちがいがあるのか調べました。下の図は、それぞれの土やすなを虫めがねで観察したものです。水のしみこみ方の実験の結果をまとめた下の表の () にあてはまる言葉を下の からえらんで、記号を書きましょう。

校庭	すな場	校庭の土	すな場
		つぶの大きさ (①)	(②)
		しみこむ速さ (③)	(④)
		ア 小さい イ 大きい ウ おそい エ 速い	

(1)	①	高い	
	②	低い	
(2)	①	ア	② イ
	③	ウ	④ エ
(3)	雨水を外側に流して、水がたまらないようにするため。 (教師判断)		
(4)	低い		
	砂や土のつぶが小さい (教師判断)		

(順不同)

- (3) 駅のホームや道路は、水平ではなく外側に向かって少しかたむけて作られていることがあります。その理由を、「雨水」という言葉を使って書きましょう。

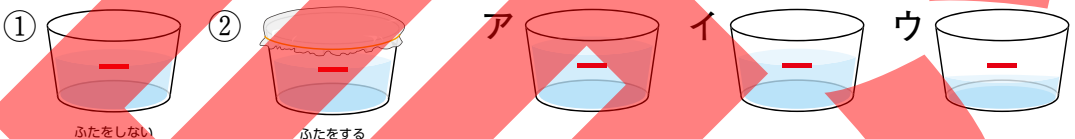


- (4) 雨がやんだ後で運動場を見ると、水たまりができている場所とできていない場所がありました。水たまりができていた場所は、ほかの場所とくらべてどんな場所だと考えられますか。2つ書きましょう。

【2】 2つの水そうに同じ量の水を入れて、水面の位置にしるしをつけました。一方にラップをかぶせて日当たりのよい場所に置いておきました。

((1)(2)知識・技能 (3)思考・判断・表現)《30》

- (1) 2, 3日後にようすを見ると、①, ②それぞれの水の水面はどうなっているか、下の図のア～ウからそれぞれえらんで、記号を書きましょう。



- (2) このことを説明した下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

水は、空気中に出ていきます。このとき、水は目に (①) すがたに変わります。空気中の目に (①) すがたの水のことを、(②) といいます。このように、水が水面や地面から (②) にすがたを変えて空気中に出ていくことを、(③) といいます。

(1) ■	①	ウ
	②	イ
(2) ■	①	見えない
	②	水じょう気
	③	じょう発
(3)	水てきがつく。 (教師判断)	

- (3) 右の図のように、水をまいた地面の上にプラスチックのカップをしばらく置きました。プラスチックのカップの内側のようすはどうなりますか。



(知識・技能)

【3】 氷水を入れたコップを部屋に置きました。しばらくすると、コップの外側に水てきがつきました。《15》

- (1) コップを置く場所を変えて実験をしました。①, ②のそれぞれの場所に置いたとき、水てきがつくなら○、つかないなら×を書きましょう。

① 運動場 ② 階段

- (2) このように、空気中の目に見えないすがたの水が、冷たいものの表面で目に見えるすがたの水にもどることを何というか、書きましょう。

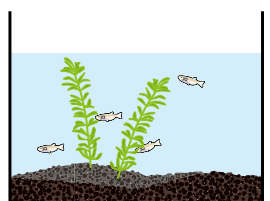
(1) ■	①	○
	②	○
(2) ■	結ろ	

【4】 ふたのない水そうでメダカを育てていました。

(思考・判断・表現)《10》

- (1) 水そうのそうじや水かえをしないまま、何日かたちました。水そうの中の水の量はどれくらい減っているか、書きましょう。

- (2) (1)のように答えた理由を書きましょう。



(1)	へっている		
(2)	水そうの中の水がじょう発したから。 (教師判断)		

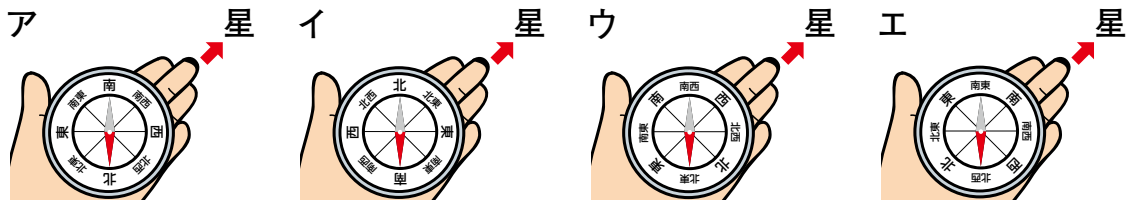
4	5	【大日本】夏 星の明るさや色 夏の終わり P52～57 P58～65 P68～71, P222 【東 書】暑くなると 夏の星 P62～69 P70～75, P189	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点		
年	令7 理科						/35	/65

《全問各5》

【1】見つけた星の方位を調べます。

(知識・技能)《15》

- (1) 下の図のような、方位を調べる道具の名前を書きましょう。
(2) 下のア～エのうち、星の方位を正しく調べているものをえらび、記号を書きましょう。



- (3) (2)と答えた理由を書きましょう。

(1)	方位じしん
(2)	ア
(3)	色がついたはりが、北をさしているから。 (教師判断)

【2】夜空に見える星について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。(知識・技能)《20》

- ① 明るさは、どの星でも同じだ。
② 色は、星によってちがう。
③ 1等星と2等星では、1等星の方が明るい。
④ 星は、東の空にしか見えない。

■	①	×	②	○
	③	○	④	×

【3】次の動物や植物の夏のようすは、春とくらべてどのように変わっていますか。

(思考・判断・表現)《40》

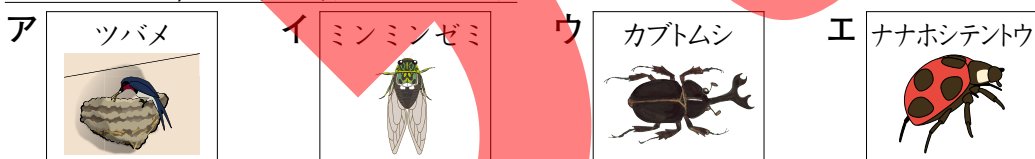
- (1) 下の表の絵を手がかりにして、()にあてはまる言葉を書きましょう。

	サクラ	ツルレイシ・ヘチマ	オオカマキリ	カエル
春	 花がさいている。	 芽が出て、少しずつ葉がふえてきた。	 オオカマキリの(③)がたまごからたくさん出てきた。	 うまれたばかりで、まだ(⑥)のじょうたいだった。
夏	 (①)がふえている。	 くきがのびていて、(②)がさいていた。	 体の色は(④)になり、体の大きさが(⑤)になっていた。	 足が生えて、体が大きくなっていた。水中からりくにあがっていた。

(1)	①	葉
	②	花
	③	よう虫
	④	緑色
	⑤	大きく
	⑥	おたまじゃくし
(2)	イ	
	ウ	

(順不同)

- (2) 次の動物のうち、春には見られなかったが夏に見られるようになった動物はどれか。2つえらび、記号を書きましょう。



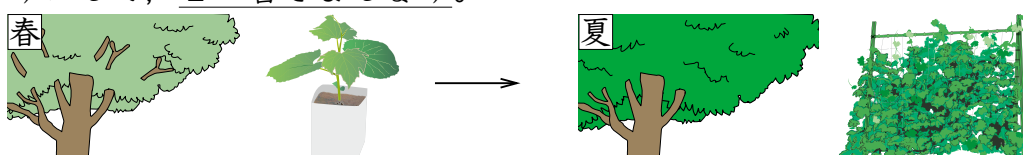
【4】夏の動物や植物についてまとめました。

(思考・判断・表現)《25》

- (1) 下の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

夏になると、春とくらべて気温が(①)。動物は、活動が(②)なり、数が(③)。
ア 上がる イ 下がる ウ さかんに エ にぶく オ ふえる カ へる

- (2) 植物は、夏になると春とくらべてどのようになりますか。下の絵を手がかりにして、2つ書きましょう。



(1)	①	ア
	②	ウ
	③	オ
(2)	・葉がしげる(ふえる)。 ・くきやえだがのびる。 ・葉の色がこくなる。 などから2つ (教師判断)	

4 年	6 令7 理科	【大日本】 6 月と星の位置の変化 秋 P94~109 P128~133 【東 書】 6 月や星の見え方 すずしくなると P78~91, P189 P102~109	名	組	番	評 点		■知・技	思・判・表	
			前							
							/45	/55		

《全問各5》
[1] 時間がたつと月の位置がどのように変わるのか調べるために、月の観察をしました。 (知識・技能)《40》

(1) 観察カードには、どのようなことが分かるようにかくとよいですか。観察カードにかくとよいことを、下のア～カから3つえらび、記号を書きましょう。

ア 月の形 イ 天気 ウ 気温 エ 月の方角

オ 見つけた生き物 カ 観察した時こく

(2) 右の①や②のような月を見つけました。それぞれの月の名前を書きましょう。

① 

② 

(3) 観察から分かったことをまとめた下の文の()にあてはまる方位を書きましょう。

月の位置は、時間がたつと、(①) から、(②) を通って、(③) へと変わります。

(1)	■	ア
		エ
		カ
(2)	■	① 満月
		② 半月(上弦の月)
(3)	■	① 東
		② 南
		③ 西

(順不同)

[2] 時間がたつと、星や星ざの見える位置やならび方が変わるのか調べるため (1)知識・技能(2)(3)思考・判断・表現《20》
に、星の観察をしました。

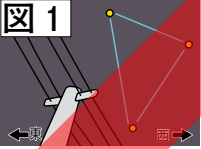
(1) 星ざ早見の使い方をまとめました。()にあてはまる言葉を、下のア～エからえらび、記号を書きましょう。

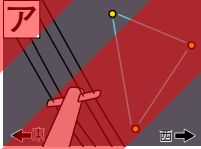
① 月日の目もりと時こくの目もりを観察する日に合わせる。

② 調べたい星が見える方位に向かって立ち、星ざ早見の調べる方位が()にくるように持つ。

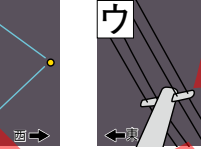
ア 上 イ 下 ウ 右 エ 左

(2) 図1は午後7時に見た夏の三角です。2時間後にもう一度観察したときの星ざの位置やならび方は、どのように変わっていますか。下の図のア～ウのうちからえらび、記号を書きましょう。

図1 

ア 

イ 

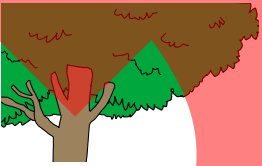
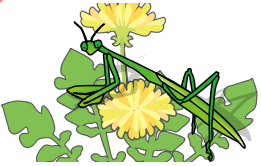
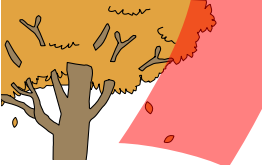
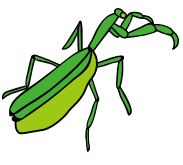
ウ 

(3) (2)になる理由を説明した下の文の()にあてはまる言葉を書きましょう。

星や星ざは、時間がたつと、(①)は変わりますが、(②)は変わらないからです。

(1)	■	イ
(2)		イ
	①	位置
(3)	②	ならび方

[3] 次の動物や植物の秋のようすは、夏とくらべてどのように変わっていますか。下の表の絵を手がかりにして、表の()にあてはまる言葉や文を書きましょう。 (思考・判断・表現)《20》

		サクラ		オオカマキリ	
夏	こい緑色の葉がふえている。		緑色になり、体が大きくなっていた。		① かわり 茶色くなり など
秋	葉の色が(①), かれて葉が(②)。		おなが(③)いるので、もうすぐ(④)と思う。		② 落ちる なくなる など
					③ 大きくなって ふくらんで など
					④ たまごをうむ さんらんする など

[4] 秋の動物や植物についてまとめました。下の文の()にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。 (思考・判断・表現)《20》

秋になると、夏とくらべて気温が(①)。動物は、活動がにぶくなって、すがたや活動のようすを見られることが(②)。植物には、(③)ができて、その中に(④)ができる。

ア 下がる イ 上がる ウ へる エ ふえる

オ 実 カ 葉 キ くき ク たね

①	ア
②	ウ
③	オ
④	ク

4 年	7 令7 理科	【大日本】 7 わたしたちの体と運動 P110～127	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
		【東 書】 2 動物のからだのつくりと運動 P16～29	前			点		
							／30	／70

《全問各5》

- 【1】 自分のうでをさわって気づいたことをまとめました。() にあてはまる言葉を書きましょう。(同じ言葉を何回使ってもよい)

(知識・技能)《20》

うでの中には、いつもかたい部分と、やわらかく、力を入れるとかたくなる部分がある。いつもかたい部分を (①) といい、やわらかい部分を (②) という。

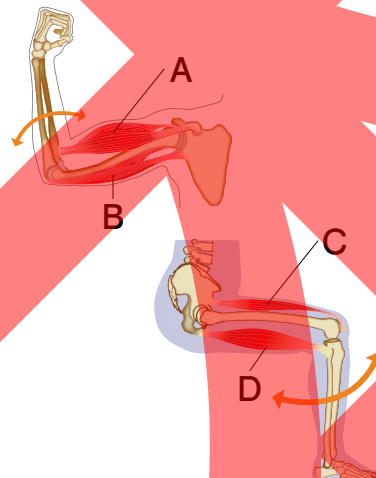
うでの曲がる部分には、(③) のつなぎ目があり、その曲がる部分を (④) という。

①	ほね
②	きん肉
③	ほね
④	関節

- 【2】 右の図のようにひじやひざの曲がり方についてまとめました。() にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。(同じ記号を何回使ってもよい)

(思考・判断・表現)《30》

- ・ ひじをのばすとき、Aのきん肉は (①)。
- ・ ひじをのばすとき、Bのきん肉は (②)。
- ・ ひじを曲げるとき、Aのきん肉は (③)。
- ・ ひじを曲げるとき、Bのきん肉は (④)。
- ・ ひざをのばすとき、Cのきん肉は (⑤)。
- ・ ひざを曲げるとき、Dのきん肉は (⑥)。



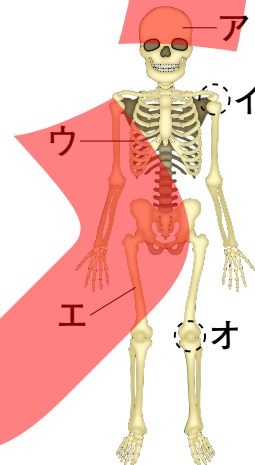
①	ア
②	イ
③	イ
④	ア
⑤	イ
⑥	イ

ア ゆるむ イ ちぢむ

- 【3】 右の図は、人の体のほねのようすです。次の問いに答えましょう。

(思考・判断・表現)《20》

- (1) 関節を表しているのはどこか、図のア～オから2つえらび、記号を書きましょう。
- (2) 心ぞうやはいを守っているほねはどこか、図のア～オからえらび、記号を書きましょう。
- (3) ほねには、(2)のように、体の中のものを守るやくわりがあります。ほねには、他にどんなやくわりがあるか書きましょう。



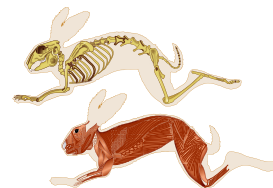
(1)	イ
	オ
(2)	ウ
(3)	体をささえる。

(順不同)

- 【4】 ウサギの体のつくりについて調べました。次の問いに答えましょう。

((1)知識・技能 (2)思考・判断・表現)《30》

- (1) ウサギを観察するときの注意点について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。
 - ① よく調べるために体を力強くさわる。
 - ② ウサギをさわった後、かならず手をあらう。
- (2) 動物の体のつくりについてまとめました。次の文の () にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。



ウサギの体の中には、人と同じように (①) や (②) がある。また、人と同じように (③) があるため、体を曲げることができる。ウサギは、(④) の (①) が発達している。そのため、はねるように走ることができる。

(1)	①	×
	②	○
(2)	①	イ
	②	ウ
	③	ア
	④	オ

ア 関節 イ きん肉 ウ ほね エ 前あし オ 後ろあし カ むね

4 年	8 令7 理科	【大日本】 8 ものの温度と体積 P134～151, P224 【東 書】 9 物の体積と温度 P120～133, P192	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点	/50	/50

《全問各5》
[1] 水、空気、金ぞくをあたためたとき、冷やしたときの体積の変化を下の表にまとめました。(知識・技能)《25》

- (1) 右の表の () にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。
(同じ記号を何回使ってもよい)

	あたためたとき	冷やしたとき
水	大きくなる	小さくなる
空気	(①)	(②)
金ぞく	(③)	(④)

ア 大きくなる イ 変わらない ウ 小さくなる

- (2) 水、空気、金ぞくで体積の変わり方が大きいじゅんにならべて書きましょう。

(1)	①	ア	②	ウ
	③	ア	④	ウ
(2)	空気 → 水 → 金ぞく			

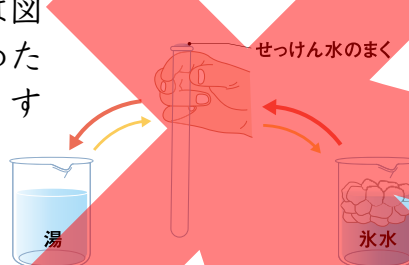
(完答)

《2》 口にせっけん水のまくをつけた試験管を、下の図1のように湯や氷水につけ、あたためたり冷やしたりしました。

- (1) はじめ、せっけん水のまくをつけた試験管は図2のようになりました。この試験管をあたためたときと冷やしたときのせっけん水のまくのようすをア、イからえらび、記号を書きましょう。



図1



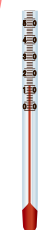
(1)知識・技能 (2)(3)思考・判断・表現《30》

(1)	あたためたとき	ア
	冷やしたとき	イ
(2)	空気の体積は、あためると大きくなり、冷やすと小さくなる。(教師判断)	
(3)	①	ア
	②	イ
	③	イ

- (2) この結果からいえることは何か、「空気の体積は」に続けて書きましょう。
(3) (1)の実験からさらに試験管の向きや温度を変えて実験を行いました。次の①～③の実験の結果を、上のア、イからえらび、記号を書きましょう。
① 試験管を下向きにして手でにぎってあたためる。
② せっけん水のまくをつけた後、冷ぞうこに入れる。
③ 試験管を湯であたためてから、氷水で十分に冷やす。

《3》 温度計について説明した次の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。(思考・判断・表現)《10》

温度計は、(①)によってえきの(②)が変わるせいしつを利用して、右のような温度計には中に赤いえきが入った管があります。えきだめが、あたためられたり冷やされたりすると、えきの(②)が変わります。すると、えきが管の中を上下し、温度をはかることができます。



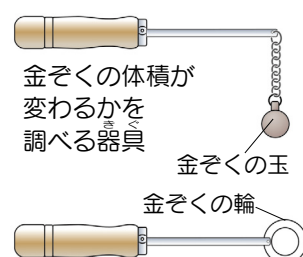
①	温度
②	体積

《4》 金ぞくの温度と体積の変わり方について、次の問いに答えましょう。(1)知識・技能 (2)(3)(4)思考・判断・表現《35》

- (1) 実験用ガスこんろの使い方について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

- ① つまみを回して火がつかなかったらそのまま待つ。
② ガスこんろは平らで安定した場所に置く。
③ 記録しやすいようにノートを近くに置いておく。

- (2) 右の図のような道具を使い、金ぞくの玉を輪に通すと、玉はすれすれで輪を通りぬけました。その後、金ぞくの玉を熱して、通りぬけるかたしかめました。



- ① 金ぞくの玉を熱した後、玉は、輪を通りぬけますか。正しい方をえらんで、かい答らん○をつけましょう。

- ② ①の理由はなぜか。「体積」という言葉を使って、理由を書きましょう。

- (3) (2)の実験のあと、金ぞくの玉を水で冷やしました。金ぞくの玉は、輪を通りぬけますか、通りぬけませんか。正しい方をえらんで、かい答らん○をつけましょう。

- (4) 鉄道のレールや橋のつなぎ目は、右の絵のように、つなぎ目にすき間をあけています。その理由を書きましょう。



(1)	①	×
	②	○
	③	×
(2)	①	通りぬける (通りぬけない)
	②	金ぞくがあためられて、体積が大きくなったから。(教師判断)
(3)	(通りぬける) 通りぬけない	
(4)	暑い夏の日、レールがのびて曲がってしまうのをふせぐため。(教師判断)	

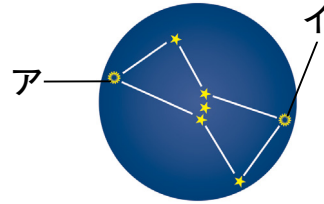
4 年	9 令7 理科	【大日本】 冬の星 P 152～155 【東 書】 冬の星 P 148～151	冬 P 156～169, P 227 寒くなると P 152～157, P 189	名 前	組	番	評 点	■知・技	思・判・表

《全問各5》

(知識・技能)《40》

【1】 冬の星ざや星の動きについて、次の問いに答えましょう。

- (1) 右の星ざの名前を書きましょう。
(2) 右のア、イの星の名前を書きましょう。
(3) 冬の星ざや星の動きについて、正しいものは○、正しくないものには×をつけましょう。

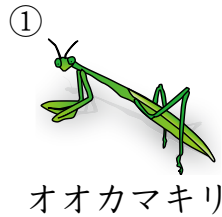


- ① 冬でも、夏と同じ時こくであれば夏と同じ星ざが見える。
② 冬の星ざは、時間がたつと見える位置が変わる。
③ 冬の星ざは、時間がたつと星のならびが変わる。
④ 右の星ざを形づくる星は、全て赤い色である。
⑤ 右の星ざを形づくる星は、星によって明るさがちがう。

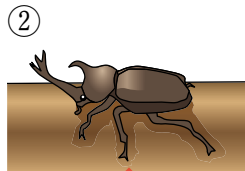
(1)	■	オリオン	ざ
(2)	■	ア	ベテルギウス
	■	イ	リゲル
(3)	■	①	×
	■	②	○
	■	③	×
	■	④	×
	■	⑤	○

【2】 次の動物や植物は、どのようなすがたで冬をこすでしょう。下の□からえらび、記号を書きましょう。

(知識・技能)《20》



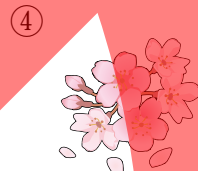
オオカマキリ



カブトムシ



ヒキガエル



サクラ

■	①	ア
	②	イ
	③	オ
	④	ク

ア たまごのすがた イ よう虫のすがた ウ 成虫のすがた エ おたまじゃくしのすがた
オ カエルのすがた カ 葉がしげったすがた キ 花がさいたすがた ク えだと芽だけのすがた

【3】 1年の季節のうつり変わりについて調べました。次の問いに答えましょう。 ((1)知識・技能 (2)(3)思考・判断・表現)《40》

- (1) 季節のうつり変わりについてまとめました。()にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。

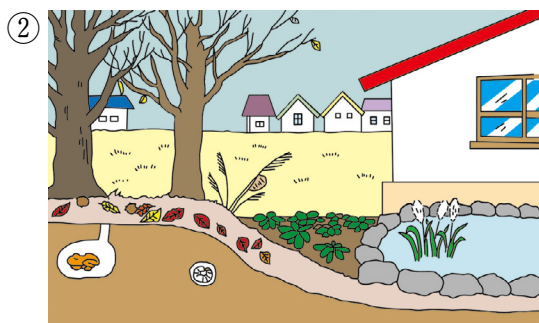
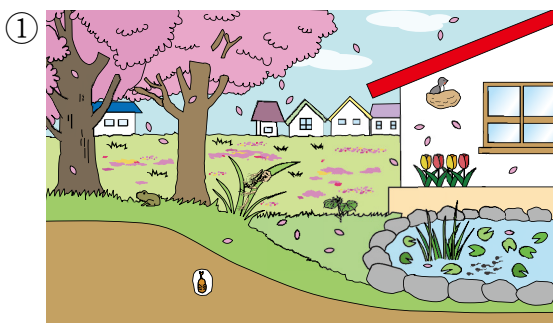
あたたかい季節になると、(①)は活動が活発になり、(②)はよく成長する。寒い季節になると、(①)は活動がにぶくなり、(②)のようすはほとんど変化しない。
生物のようすは、季節の変化によってちがいが (③)。

ア 植物 イ 動物 ウ ある エ ない

- (2) 下のツルレイシの図を、春から冬のじゅんになるように、ア～エをならべかえ、記号を書きましょう。



- (3) 次の①、②の絵は、春、夏、秋、冬のどの季節を表しているでしょう。また、そのように考えた理由を、生物のようすをもとに書きましょう。



(1)	■	①	イ
		②	ア
		③	ウ
(2)		エ → イ → ア → ウ	
(3)	①	理由	季節 春 ・サクラの花がさいているから。 ・オオカマキリのような虫が生まれているから。 ・オタマジャクシがいるから。 ・ツルレイシの芽が出ているから。 など(教師判断)
		理由	季節 冬 ・カエルが冬みんしているから。 ・カブトムシのような虫が土の中にいるから。 ・木がかれているから。 など(教師判断)

(完答)

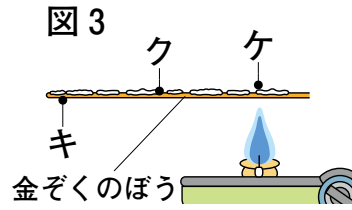
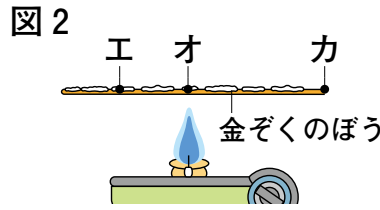
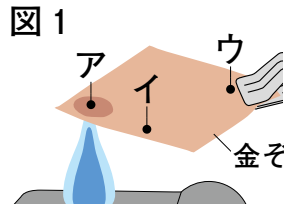
4 年	10 令7 理科	【大日本】 9 ものあたためり方 P170～185, P220 【東 書】 10 物のあたためり方 P134～147, P188	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点	/50	/50

《全問各5》

[1] 金ぞくのあたためり方について、次の問いに答えましょう。

((1)知識・技能 (2)思考・判断・表現)《25》

- (1) 金ぞくのぼうや板にろうをぬり、熱しました。下の図1～図4で3か所のろうが、とけるのが早い方からじゅんにそれぞれア～シの記号を書きましょう。



- (2) 金ぞくのあたためり方について、() にあてはまる言葉を書きましょう。

金ぞくは、() ところからじゅんにあたためていき、やがて全体があたたまると。

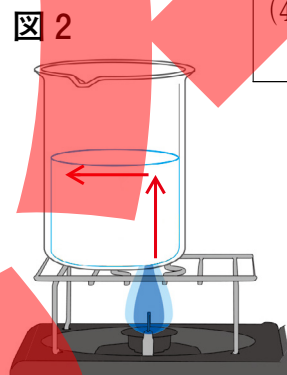
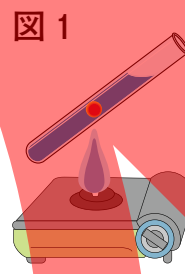
(1)	図1	ア → イ → ウ
	図2	オ → エ → カ
	図3	ケ → ク → キ
	図4	コ → シ → サ
(2)	熱せられた	

(完答)(完答)(完答)(完答)

[2] 水の入った試験管の中に示温インクを入れ、水のあたためり方を調べました。次の問いに答えましょう。

((1)(2)知識・技能 (3)(4)思考・判断・表現)《30》

- (1) 実験をするときに気をつけることについて、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。
- ① 水の動きが見にくくなってしまうので、ほごめがねはかけない方がよい。
- ② 実験に使った道具は、冷めるまでさわってはいけない。
- (2) 図1のように、ガスこんろで試験管の真ん中を熱しました。試験管の中の水は、上の方、下の方のどちらが早くあたまるか、かい答らんの正しい方に○をつけましょう。
- (3) 図2のように、ビーカーの中に水をいれ、熱しました。あたためられた水はどのような動きになりますか。水の動きを表す矢印を図2のビーカーの中に書き入れなさい。
- (4) 水のあたためり方をまとめました。() の中の正しい言葉をえらび、かい答らんに○をつけましょう。



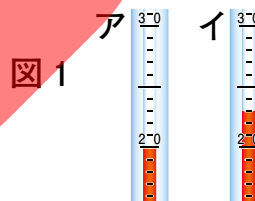
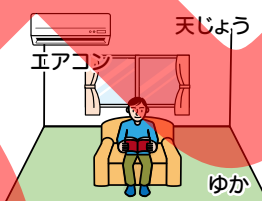
(1)	①	×
	②	○
(2)	上の方 ・ 下の方	
(3)	図2の中に記入 (教師判断)	
(4)	①	上 ・ 真ん中 ・ 下
	②	一部分 ・ 全体

あたためられた水は、① (上 ・ 真ん中 ・ 下) の方へ動く。このようにして、水は② (一部分 ・ 全体) があたためていく。

[3] 部屋のエアコンでだんぼうをつけています。次の問いに答えましょう。

((1)(2)知識・技能 (3)～(5)思考・判断・表現)《40》

- (1) この部屋のゆかの近くと天井の近くで温度を計ると図1のア、イのようになりました。ア、イの温度は何度ですか。
- (2) 天井の近くの温度はア、イのどちらか、記号を書きましょう。
- (3) 空気のあたためり方についてまとめました。次の文の() にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。



空気は、(①) と同じように、熱したところの空気が (②) 。かわりに上の冷たい空気が (③) 。このように空気が動くことによって全体があたまる。

ア 金ぞく イ 水 ウ 上に動く エ 下に動く

- (4) エアコンで部屋をあためるとき、部屋全体をより早くあためるには、ふき出し口を上と下、どちらに向けたらよいでしょうか。かい答らんの正しい方に○をつけましょう。
- (5) (4)のように考えた理由を書きましょう。

(1)	ア	20 °C
	イ	23 °C
(2)	イ	
(3)	①	イ
	②	ウ
	③	エ
(4)	上 ・ 下	
(5)	あためられた空気は、上の方へ動くから。 (教師判断)	

(思考・判断・表現)

[4] 熱気球がうかぶ理由について、正しいものはどれか、下のア～ウからえらび、記号を書きましょう。《5》

- ア ガスバーナーのほのおがふき出す力で、気球をもちあげているから。
- イ 気球の中で、空気が水じょう気(水蒸気)に変わるから。
- ウ 気球の中の空気が、ガスバーナーであためられ、上に上がろうとするから。

ウ

4 年	11 令7 理科	【大日本】10 すがたを変える水 P 186～205 【東 書】11 水のすがたと温度 P 158～173	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点	/50	/50

《全問各5》

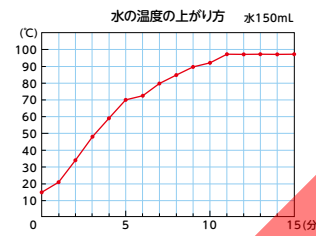
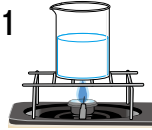
[1] 図1のように、水を熱して温度の変化を調べました。

((1)(2)知識・技能 (3)思考・判断・表現)《35》

次の問いに答えましょう。

- 図1のビーカーの中に、熱い湯がふき出すのをふせぐためにあるものを入れます。それは何か、書きましょう。
- このときの温度の変化を右のようにグラフにしました。この実験からいえることをまとめた次の①～③の文で、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。
- 水を熱し続けたときの温度の変わり方についてまとめました。()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

図1



(1)	ふっとう石
①	×
(2)	② ○
③	○
(3)	① ア
②	エ
③	カ

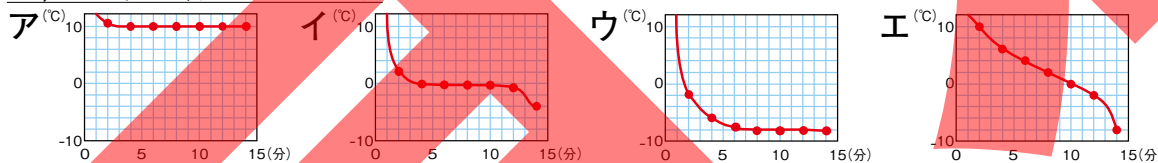
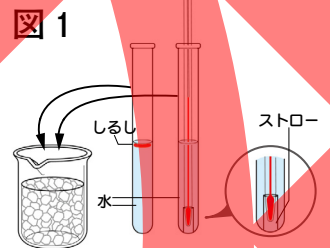
水は、熱し続けると (①) 近くまで温度が上がる。このとき中からさかんにあわが出てくる。このことを (②) という。水が (②) している間、水の温度は (③) 。

ア 100℃ イ 80℃ ウ じょう発 エ ふっとう オ 変わる カ 変わらない

[2] 図1のように試験管に水を入れ、冷やし続けました。次の問いに答えましょう。 ((1)(2)知識・技能 (3)(4)思考・判断・表現)《30》

- 温度計の先にストローをつけました。その理由を書きましょう。
- さらに温度を下げるには、ビーカーの中に何を入れるとよいか、書きましょう。
- 水の温度を2分ごとに調べ、グラフに表しました。このグラフとして正しいものを次のア～エからえらび、記号を書きましょう。
- 水を冷やし続けたときの温度の変わり方についてまとめました。()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

図1



(1)	温度計が割れないようにするため。 (教師判断)
(2)	食塩 (塩)
(3)	イ
(4)	① ア
②	エ
③	オ

水は冷やし続けると温度が下がり、(①) °Cになるとこおり始める。水がこおり始めてから、全部の水が氷になるまで、温度は (①) °Cのまま変わらない。全部の水が氷になった後は、温度が (②) 。水が氷になると、体積が (③) なる。

ア 0 イ 10 ウ 上がる エ 下がる オ 大きく カ 小さく

[3] 図1, 図2のように、水を熱したときに出てくるあわについて調べました。

(思考・判断・表現)《15》

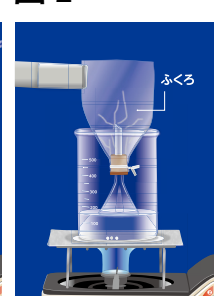
次の問いに答えましょう。

- 初めに図1のように、水を熱すると、あなから湯気が出ました。そこであなにガラスぼうを近づけ、湯気を集めると、水が付きしました。湯気の正体は何だといえるかを、「湯気は」という書き出しに続けて書きましょう。
- 次に、ビーカーのそこから出るあわを図2のようなそうちを使って集めました。ふっとうしているときは、ふくろがふくらみました。この後、熱するのをやめると、ふくろはどうなるか、書きましょう。
- (2)のとき、ふくろの中にある変化が見られました。どのような変化が見られたか、書きましょう。

図1



図2



(1)	湯気は 小さな水のつぶである。 (教師判断)
(2)	しぼむ
(3)	水てきがついていた。

[4] 下の図のように水のすがたの変わり方についてまとめました。次の問いに答えましょう。

(知識・技能)《20》



- 氷, 水, 水じょう気のようなすがたを、何というか。それぞれ書きましょう。
- 氷, 水, 水じょう気のうち、目に見えないものはどれか、書きましょう。

(1)	氷	固体
■	水	えき体
	水じょう気	気体
(2)	水じょう気	
■		